

Medical Technology News

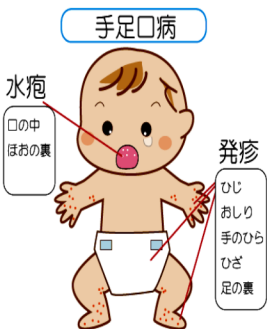
臨床検査室新聞

手足口病

今年は大流行！

手足口病は、ウイルス感染症の一つで、原因となるウイルスは、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスです。毎年夏場に流行し、かかりやすい年齢は、1〜5歳の乳幼児ですが大人にも感染します。感染から発症までは3〜5日ほどで、感染経路は感染者の鼻や咽頭からの分泌物、便などによる接触感染や咳、くしゃみなどの飛沫感染です。症状は、手のひらや指、ひじ、足の裏、ひざ、おしり、口腔内に水疱性の発疹が現れ、乳児はとくにおしり、ひざ、ひじに見られます。口腔内の発疹は、水疱がやぶれて潰瘍

になると痛みが伴います。発症初期に発熱を伴うこともあります。合併症として、まれに髄膜炎や心筋炎があるので、嘔吐や頭痛には注意が必要です。今年、手足口病が全国的に大流行しています。国立感染症研究所によると、全国の患者数は18万5千人余りとなりました(8月26日)。流行のピークは過ぎましたが、引き続き注意しましょう。



検査は血清ウイルス抗体価(外注検査)を調べます

LOOK

口腔アレルギー症候群

秋になり、北海道も美味しいりんごの採れる季節となりましたが、皆さんは果物をかじった後に違和感を覚えることはありませんか?のどがむずむずピリピリ痛痒く、息苦しくなり、唇が腫れ「たらくちびる」になったりします。これを口腔アレルギー症候群といいます。シラカバの花粉症の人は北海道民が多いのですが、その中の一部の人たちに、このような症状の現れることがあります。ただ、生のりんごではなく、熟を加えたりして加工したものは食べれるようですが、それでも症状が現れる人も中にはいます。思い当たる方はご自分が何の花粉症を持ち、どんな食べ物でアレルギーが出る可能性があるかどうかを一度病院で調べてもらうといいかもしれません。おもな花粉症と関連性のある食物を下に載せました。

花粉症	おもな食物
シラカバ	バラ科果物(リンゴ、モモ、サクランボ、洋ナシ、イチゴ) ヘーゼルナッツ、ピーナッツ
スギ	トマト
カモガヤ	トマト、メロン、スイカ、オレンジ
ブタクサ	メロン、スイカ、キュウリ、バナナ
ヨモギ	ニンジン、セロリ、リンゴ、ピーナッツ

チェック!

特発性血小板減少性紫斑病は、血小板膜蛋白に対する自己抗体(抗血小板抗体)が産生され、この抗血小板抗体と結合した血小板が、主として脾臓のマクロファージにとり込まれ破壊が亢進するために血小板減少が起きる自己免疫疾患です。病因は不明で、なぜ自己抗体が産生されるかは明らかではありません。健康人の血小板数は12万〜38万/μLくらいですが、この疾患では10万/μL以下に低下します。血小板数が5万/μL以下になると出血症状がみられるようになります。出血症状に気づかず検診時の血液検査で偶然に血小板減少を指摘されることもあります。症状としては主に皮下出血(点状出血または紫斑)が見られ、血小板数が1万〜2万/μL以下に低下すると歯肉出血、鼻出血、下血、血尿、頭蓋内出血などの重篤な出血症状が出現します。特発性血小板減少性紫斑病の治療法としては、ピロリ菌陽性である場合、抗菌剤でピロリ菌除菌を行うことが推奨されています。ピロリ菌除菌で50%以上に血小板数の増加が認められています。本来、胃・十二指腸潰瘍などの治療法であるピロリ菌の除菌療法がなぜ特発性血小板減少性紫斑病の治療に有効なのでしょうか?



特発性血小板減少性紫斑病とピロリ菌との関係

感染予防は

- *おむつ交換時には、排泄物を適切に処理すること
- *手洗いとうがいをしっかりすること

2013年10月 第49号
発行元 八雲総合病院 臨床検査室



ほと time

おすすめのりんごは「シナノスイート」
世界一重いりんごは2005年に青森県弘前市で収穫された「スタークジャンボ」という品種で1.85Kgもあったそうです。ちなみにあの白猫キャラクター「キティちゃん」の体重はりんご3個分(ロンドン産)です…ってかわいい〜!!!
そうすると僕はりんご35個分(世界一重い弘前産)です…ってかわいい〜!!!
いい子は計算しちゃダメ!!!

検査の基本

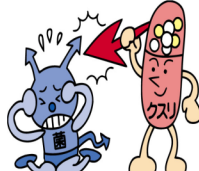
血液像(白血球分画)検査

健康人の末梢血に出現する白血球は、好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球の5種類に分類されます。この5種類に分類されたものを白血球分画といいます。

白血球分画の検査方法には、自動血球分析装置で測定する方法(自動機械法)と血液を直接ガラスに塗抹・染色して顕微鏡で白血球を観察・分類する方法(顕微鏡法)があります。顕微鏡法では、好中球をさらに桿状核球と分葉核球に分類し、感染症や炎症等の診断、治療に役立っています。



これは、ピロリ菌に対する抗体が抗血小板抗体と構造が似ているために、血小板とも結合するためではないかとされています。除菌療法により、ピロリ菌が消失し、それに伴って抗体も消えることで血小板数が回復すると考えられています。



編集後記

2020年東京オリンピック開催が、決まりました。未来のアスリートたちは、自国開催のオリンピックに希望と目標を持って頑張っています。

スポーツ観戦だけの私の目標は、オリンピックで活躍するアスリートたちを7年後も健康で元気に応援することです。

